

大会時・コロナ禍での取組

- ・2018年～：書類等の電子化を実施
- ・2018年11月：東京2020大会をきっかけに検討開始
- ・東京都の「はじめてテレワーク」にも応募
- ・2020年5月頃：テレワークを本格開始

人の流れ

きっかけ

以前より実施

オリパラ

コロナ禍

- テレワーク・・・実施率約5割（2班に分けて毎日交代で出勤（2～3回/週の出社）
デイサービス事業では未実施
- 会議等のオンライン化・・・社内会議は既存のシステムを活用。
社外（研修含）もオンラインに移行
- 有給休暇の計画的な取得促進・・・既存の制度を活用して取得を推奨
（冬季と夏季で最低8日有休取得）
1/1のみ一斉休業（訪問利用者の対応は有）
- 書類等の電子化・・・既存のシステムを活用（人事・雇用
契約書等は未実施）

物の流れ

きっかけ

以前より実施

オリパラ

コロナ禍

特に取組は実施していない

（業態として物流を扱うことがない）

今後の取組

人の流れ

継続して取組を実施予定

テレワーク

※現在も2班制。

計画的な休暇の取得促進

会議等のオンライン化

手続きの電子化

取組ポイント

- コンサルタントに相談しながら就業規則の変更も実施（テレワークを規定）
- 全社員への内部説明を実施

物の流れ

今後、継続して実施する取組みはない

【東京2020大会を振り返って】

- ・足立区には競技会場もなく、業務で高速道路も利用しなかったため影響はなかった。
- ・物流に関する取組は行わなかったが、東京都から提供された情報をもとに、交通渋滞等の影響の有無は確認していた。